

【写真】7月17日、日の出小学校グラウンドにおいて運動会が開催されました！晴天の下、子どもたちが一生懸命頑張る姿が感動を与えました。

令和3年（2021年）9月16日発行
編集・発行 岩見沢市教育委員会
〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢4階

第 52 号

教育広報

いわみざわ市の教育

—特集—

コロナ禍、自ら伝えた 少年の主張岩見沢大会

- 図書館へ行こう！～イベントご紹介～
- あなたの未来を応援します！緑陵高等学校
- 美流渡で工芸教室にチャレンジしませんか？
- 学校運営を支える仕事 Vol.2「スクールサポートスタッフ」
- おすすめの一冊



岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教委ホームページの更新情報などを発信していますので、ぜひ「いいね！」してください。
<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>



コロナ禍、自らの言葉で伝えた

令和3年度 少年の主張岩見沢大会

市教委では日々成長を続ける子どもたちが、体験や活動の機会を通じて、自主性や社会性を育み、将来を切り拓いていく力が身に着けられるよう、新型コロナウイルス感染防止策を講じた開催スタイルで、自己表現し可能性を伸ばせる場を提供しています。

その一つが本年6月26日に開催した少年の主張岩見沢大会です。

少年の主張岩見沢大会は、子どもたちが、自らの意見や思いを持って生活することの大切さを知り、子どもと大人がそれぞれの立場で理解を深める機会として、中学生を対象に毎年開催しています。

43回目となる今年は、コロナの影響により、発表会場の各学校と審査会場のまなみーるをオンラインで結んでの開催としました。

市内9つの中学校から、代表者15名の参加があり、家庭や学校生活を通して感じていることを個性あふれたテーマと内容でとりあげ、自信を持って堂々と主張する、素晴らしい大会となりました。

会場の雰囲気や聴衆の反応がつかめないという、参加者にとっては慣れない環境での発表となりましたが、画面越しに身振りや手振りを使い、表情豊かに語り掛ける姿が印象的でした。

これまでにない形での発表でしたが、参加された皆さんにとって、この大会が貴重な経験となり、将来に向けてますます飛躍される契機となることを願っています。

【お問合せ先】

子ども課子育て支援係 電話 0126-35-5133



受賞者一覧

- ★最優秀賞（教育委員会教育長賞、副賞：岩見沢グリーンライオンズクラブ会長賞）
北村中学校 3年 工藤 優心 さん 演題「当たり前とは、普通とは」
- ★優秀賞（教育委員会教育長賞、副賞：岩見沢グリーンライオンズクラブ会長賞）
緑中学校 3年 北口 楓花 さん 演題「言葉」の恐ろしさ
- ★優秀賞（教育委員会教育長賞、副賞：岩見沢グリーンライオンズクラブ会長賞）
豊中学校 3年 須藤 千惺 さん 演題「こういう病気を知っていますか？」
- ★特別賞（岩見沢市校長会会長賞）
光陵中学校 3年 勝俣 璃音 さん 演題「私の伝えたいこと」
- ★特別賞（岩見沢市PTA連合会会長賞）
明成中学校 3年 今泉 里桜奈 さん 演題「視線から感じること」
- ★特別賞（岩見沢青年会議所理事長賞）
光陵中学校 3年 佐藤 里香 さん 演題「普通って何だろう」

図書館へ行こう！～イベントご紹介～

市立図書館では、図書の貸出だけでなく、様々な講師を招いての講演会や、季節や話題に合わせた展示なども行っています。



図書館 de ^{ジモ}地元トーク

本に親しむ事業「ライブラリーカフェ」の第6回目となる「図書館 de 地元（ジモ）トーク」を8月6日（金）に市立図書館視聴覚ホールで開催しました。

当日は、岩見沢市東部丘陵地域の美流渡に移住し執筆活動を行っている来嶋路子さんを講師に招いて、自身が執筆した「いなかのほんね」ができるまでをテーマに講演を行いました。

参加者の感想は「話がとてもわかりやすかった」、「人の話をしっかり聞くことの意味が改めてわかった」など大変好評でした。

今後も、様々な分野の方を講師に招いて「ライブラリーカフェ」を開催する予定です！



むし好きあつまれ！むしむし展

市立図書館展示コーナーにて、北海道教育大学岩見沢校との連携事業として「むしむし展」を開催しました。

開催期間中は、多くの親子連れが見学に訪れ、クイズやぬり絵などを楽しんでいました。

展示コーナーでは、北海道教育大学岩見沢校の学生さんの作品展など、随時開催しています。



※市立図書館では、毎月様々な事業を開催しています。

○絵本の読み聞かせ 毎月第2・第4水曜日、第3土曜日

○図書館シアター（児童向け） 毎月第2土曜日

（一般向け） 毎月第4土曜日

○火曜落語 上映会 毎月第2火曜日

来夢21図書館、北村学習交流館でも様々な事業を行っています。

詳しくは、広報いわみざわ、図書館ホームページなどでご確認ください。

【お問合せ先】図書館図書係 電話 0126-22-4236

あなたの未来を応援します！ 岩見沢緑陵高等学校

生徒の夢を実現するために専門性の高い教育と学びやすい環境を整えています。

○幅広い学びのニーズにこたえる多様な学科・コースを設置

○生徒の個性を尊重し、能力を伸ばしていく学習指導

○進路実現に向けた全力サポート

～なりたい自分にあわせた選べる学科・コース～

★ 普通科 普通コース ★

各学年で理解度や、進路別にクラス編成をし、高い意識を持って学力向上を目指します。

基本科目のほかに選択科目も充実しているので得意分野、興味のある分野を選んで、さらに知識を伸ばすことも可能。

数学の習熟度別指導、各教科の授業外進学講習などをきめ細かく理解度を深める授業を実施しています。

★ 普通科 スポーツ総合コース ★

体育の授業時数を増やし、部活動と連動した1～3年生の合同授業で競技力・体力を強化。

普通科としての授業に加え、トレーニング方法やスポーツ指導の在り方、応急措置など、スポーツ全般にわたる授業により専門知識が身に付きます。

普通科の中にある専門コースのため、様々な進路を目指すことができます。

★ 情報コミュニケーション科 ★

情報活用能力やプレゼンテーションによるコミュニケーション能力など、ビジネス活動で必要とされるスキルを学びます。高度で専門的な資格は、卒業後の進路に役立ちます。

また、地域貢献をテーマに、岩見沢のPRや特産品開発などに取り組む「課題研究」を通して、地域の人と交流する機会が多いのも特徴です。

あなたも緑陵高校の仲間になろう！



★ 令和2年度進路実績 ★

進路先	普通コース
国公立大学	4人
私立大学	55人
短大・専門学校等	45人
公務員	6人
民間就職	6人

進路先	スポーツ総合コース
国公立大学	1人
私立大学	10人
短大・専門学校等	21人
公務員	4人
民間就職	2人

進路先	情報コミュニケーション科
国公立大学	1人
私立大学	17人
短大・専門学校等	34人
公務員	6人
民間就職	15人



【お問合せ先】

緑陵高校庶務係

電話 0126-22-1851

美流渡で 工芸教室にチャレンジしませんか？

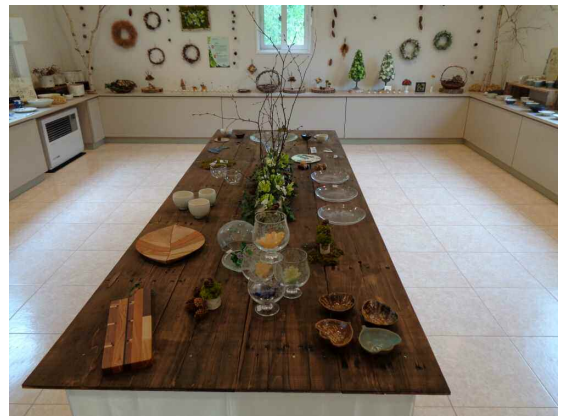
栗沢工芸館のギャラリーで作品を鑑賞しながら木工、フラワークラフト、手彫りガラス陶芸など、いろいろな工芸を楽しみましょう！



「栗沢工芸館」は2001年に開館。
栗沢工芸協会が市からの委託を受けて管理しています。
昨年から、美流渡地区在住の工芸作家7人の作品を工芸館ギャラリーにて展示、各工芸教室も担当しています。
展示品は、作家7人の作品を中心とした約300点。
見せ方にもこだわり、周囲の豊かな自然の雰囲気を取り入れようとシラカバを飾り付けたり、中央のテーブルに全員の作品を一緒に並べ展示しています。

工芸教室は、木工、フラワークラフト、手彫りガラス、陶芸の作家4人が講師となって、11月まで月4回の教室を開催しています。12月から3月までは陶芸が中心となりますが、予約制で各作家の指導も受けられます。

また、予約なしでも「工芸体験」ができますので、ぜひ遊びに来てください！



▲フラワーアーティスト
大和田 誠・由紀子さんの作品



▲手彫りガラス作家
ホジャティ あやさんの作品



▲陶芸作家
きくち 好恵さんの作品



▲木工作家
五十嵐 茂さんの作品



▲陶芸作家 こむろ しずかさんの作品

栗沢工芸館

午前9時から午後4時。

休館日は月・火曜日と8月12日から15日、12月25日～1月5日

入館無料、体験は有料

お問合せ、ご予約は ☎ 0126 - 47 - 3300



【お問合せ先】生涯学習・文化・スポーツ振興課
学習活動支援係 電話 0126-23-9236

学校運営を 支える仕事

Vol.2「スクール・サポート・スタッフ」



市内小中学校では、子どもたちが安心安全に学校生活を過ごせるよう、「事務補」、「用務員」、「学習指導員」、「スクール・サポート・スタッフ」、「学習支援員」が活躍しています。学校運営を支える5つの業務について、順次紹介していきます。

第2回目は「スクール・サポート・スタッフ」を紹介します！

「スクール・サポート・スタッフ」

各学校には、新型コロナウイルス感染症対策に係る学校現場への人的支援と子どもたちの学びの保障等のため、「スクール・サポート・スタッフ」を配置しています。

主な業務内容は、校内の清掃作業や消毒作業、換気などのほか、各種プリントの印刷、配布準備などを行います。

感染症予防のための消毒や換気作業、配布プリントの印刷業務などにより業務量が増加していますが、教員が児童生徒への指導に専念できるよう、授業準備や採点業務の補助なども行うなど、学校や教員を様々な面からサポートしています。



読んでみませんか？

「おススメの一冊」 ～ 岩見沢市立図書館から ～

岩見沢市立図書館にある本の中でおススメの本を紹介していきます。



「ぼくは海になった」



作 うさ

あらすじ

東日本大震災の津波で、ミニチュアダックスフントのチョビは、飼い主のたえちゃんの目の前で、たえちゃんのお母さんとともに、津波で流されてしまいます。海の上で目を覚ましたチョビは、お母さんの居所を知らせようと、陸に向かいます。たえちゃんに出会えたチョビでしたが、たえちゃんは気づいてくれません…。

東日本大震災の時に失われたのは、人間の命だけではない。ペットや家畜の命も多く失われていったということが、やさしい絵とともに心に響く内容となっています。大人も子どもも読んでほしい絵本です！